

清水 真砂子

心うたれたその先は ^{いま} ～読書の現在を考える～

『ゲド戦記』の翻訳者として知られる清水真砂子さんと一緒に読書の現在について考えてみませんか？

2019年 **8**月**5**日(月)

14:00～16:00 開場/13:30

塩尻市市民交流センター(えんぱーく)
3階・多目的ホール

定員/80人(先着順) 参加費/無料
申込開始日/7月7日(日)

◆本の販売とサイン会があります。

申込方法

本館総合カウンター、電話(0263-53-3365)、Eメールのいずれか。

Eメールの場合は、次の内容をお送りください。

- 〈宛先〉tosho@city.shiojiri.lg.jp
 〈件名〉「8/5本の寺子屋申込」
 〈本文〉1.参加者全員の氏名(フリガナ)、
 2.代表者電話番号、3.お住まいの地区、
 4.この講演会を知ったきっかけ



清水 真砂子 (しみず まさこ)

翻訳家、児童文学評論家。1941年、日本の植民地支配下にあった北朝鮮に生まれ、1946年春、両親の故郷の村(現在の掛川市)に引き揚げる。静岡大学教育学部卒業後、県立高校教諭(英語担当)9年間を経て、のち1976年4月から2010年3月まで青山学院女子短期大学専任教員。現在同大名誉教授。1968年から児童文学の翻訳ならびに評論の仕事を始め、1974年に評論「石井桃子論」(『講座日本児童文学8 日本の児童文学作家3』所収、明治書院、1973)で第7回日本児童文学者協会新人賞を受賞。主な訳書にマヤ・ヴォイチェホフスカ『夜が明けるまで』(岩波書店、1980、第28回産経児童出版文化賞受賞)、ル・グウィン『ゲド戦記』全6巻(岩波書店、1976～2004、第41回日本翻訳文化賞受賞)。主な著書に『子どもの本の現在』(大和書房、1984)、『子どもの本のまなざし』(JICC出版局、1992、第33回日本児童文学者協会賞受賞)、『本の虫ではないのだけれど』(かもがわ出版、2010)、『大人になるっておもしろい?』(岩波書店、2015)、『あいまいさを引きうけて』(かもがわ出版、2018)などがある。最新刊は、『子どもの本のもつカー世界と出会える60冊』(大月書店、2019)。

期大学専任教員。現在同大名誉教授。1968年から児童文学の翻訳ならびに評論の仕事を始め、1974年に評論「石井桃子論」(『講座日本児童文学8 日本の児童文学作家3』所収、明治書院、1973)で第7回日本児童文学者協会新人賞を受賞。主な訳書にマヤ・ヴォイチェホフスカ『夜が明けるまで』(岩波書店、1980、第28回産経児童出版文化賞受賞)、ル・グウィン『ゲド戦記』全6巻(岩波書店、1976～2004、第41回日本翻訳文化賞受賞)。主な著書に『子どもの本の現在』(大和書房、1984)、『子どもの本のまなざし』(JICC出版局、1992、第33回日本児童文学者協会賞受賞)、『本の虫ではないのだけれど』(かもがわ出版、2010)、『大人になるっておもしろい?』(岩波書店、2015)、『あいまいさを引きうけて』(かもがわ出版、2018)などがある。最新刊は、『子どもの本のもつカー世界と出会える60冊』(大月書店、2019)。

